

決算および経営計画進捗説明会

代表取締役社長
高下 貞二

2017年10月30日

Copyright© SEKISUI CHEMICAL CO., LTD. All Rights Reserved.

2017年度上期実績

為替レート	2016年度 上期	2017年度 上期	2017年度 期初計画
前提	¥111/US\$ ¥125/€	¥112/US\$ ¥123/€	¥113/US\$ ¥121/€
実績 *期中平均	¥105/US\$ ¥118/€	¥111/US\$ ¥126/€	-

2017年度上期 損益概要

- 大幅増収、各段階の利益で上期としての最高益を更新
- 各段階の利益とも計画を上回る

(億円)	2016年度 上期実績		2017年度 上期実績		増減	2017年度 上期計画 (7月公表)		差異
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		売上高	営業利益	
売上高	5,179		5,341		+163	5,350		▲9
営業利益	437		460		+23	445		+15
経常利益	400		486		+86	435		+51
親会社株主に帰属する 四半期純利益	261		342		+81	280		+62
配当 (円/株)	16		19*		+3	19*		0

*うち1円は創立70周年記念配当

2017年度上期 カンパニー別売上高・営業利益

- 3カンパニーとも増収増益達成
- 高機能P、環境LLは営業利益計画を上回る

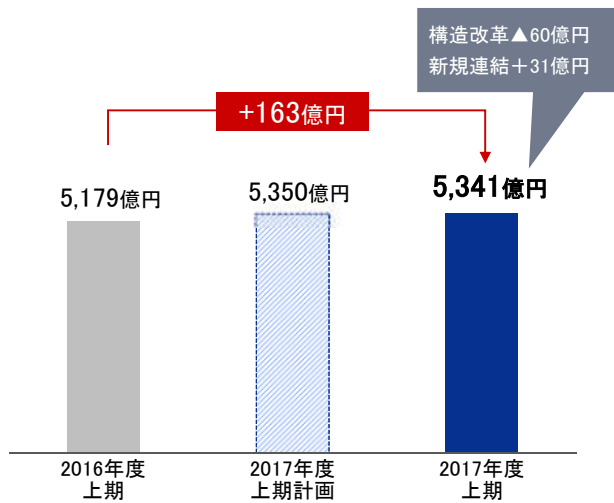
(億円)	2016年度 上期実績		2017年度 上期実績		増減		2017年度 上期計画 (7月)		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
	高機能P	1,767	275	1,855	288	+88	+13	1,840	280	+15
住宅	2,377	172	2,444	178	+67	+6	2,460	180	▲16	▲2
環境LL	1,120	32	1,121	48	+0	+17	1,120	40	+1	+8
その他	13	▲39	27	▲48	+14	▲10	30	▲50	▲3	+2
消去又は全社	▲99	▲4	▲106	▲6	▲7	▲3	▲100	▲5	▲6	▲1
合計	5,179	437	5,341	460	+163	+23	5,350	445	▲9	+15

*高機能P=高機能プラスチックカンパニー *住宅=住宅カンパニー *環境LL=環境・ライフラインカンパニー

2017年度上期 売上高、営業利益増減要因分析

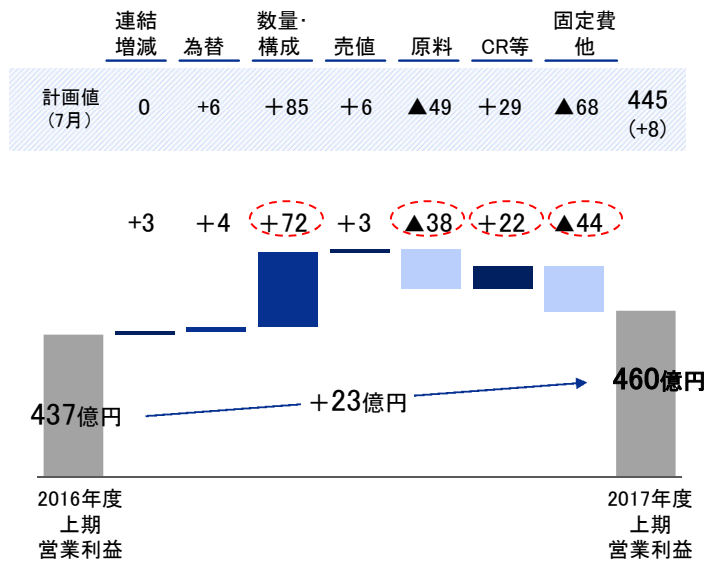
- 高機能Pを中心に、数量・構成大幅増
- 原料高影響を売値、CRで最小化。成長投資以外の固定費を抑制

売上高



・ 構造改革、新規連結除く実質ベースでは、192億円増収

営業利益増減要因分析



2017年度下期計画と 通期修正計画

為替レート	2016年度 下期	2017年度 下期計画	2017年度 期初計画
前提	¥109/US\$ ¥113/€	¥110/US\$ ¥130/€	¥113/US\$ ¥121/€
実績 *期中平均	¥111/US\$ ¥119/€	-	-

2017年度通期 修正計画概要

- 大幅増収増益。各段階の利益とも、最高益更新見込み(営業利益、最終利益は5期連続)
- 経常・最終利益を、期初計画から上方修正
- 8期連続の増配を計画

(億円)	2016年度実績		2017年度修正計画		増減	2017年度計画(4月公表)		差異
	売上高	営業利益	売上高	営業利益		売上高	営業利益	
売上高	10,658		11,140		+482	11,040		+100
営業利益	965		1,020		+55	1,020		0
経常利益	915		1,010		+95	970		+40
親会社株主に帰属する当期純利益	609		670		+61	630		+40
配当(円/株)	35		38*		+3	38*		0

*うち1円は創立70周年記念配当

2017年度通期 カンパニー別売上高・営業利益

- 3カンパニーとも増収増益見込み
- 高機能P、環境LLは期初営業利益計画を上方修正
- 全社で研究開発投資を積極化

(億円)	2016年度実績		2017年度修正計画		増減		2017年度計画(4月)		差異	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	3,575	545	3,880	590	+305	+45	3,750	580	+130	+10
住宅	4,850	375	5,000	390	+150	+15	5,000	390	0	0
環境LL	2,403	128	2,410	150	+7	+22	2,430	145	▲20	+5
その他	27	▲76	60	▲95	+33	▲19	60	▲85	0	▲10
消去又は全社	▲198	▲8	▲210	▲15	▲12	▲7	▲200	▲10	▲10	▲5
合計	10,658	965	11,140	1,020	+482	+55	11,040	1,020	+100	0

2017年度下期 カンパニー別売上高・営業利益

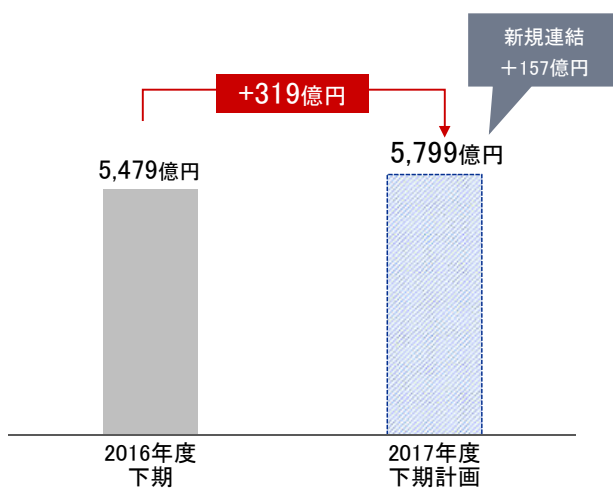
■3カンパニーとも増収増益見込み

(億円)	2016年度 下期実績		2017年度 下期修正計画		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
高機能P	1,808	270	2,025	302	+217	+32
住宅	2,473	204	2,556	212	+83	+8
環境LL	1,283	96	1,289	102	+6	+5
その他	14	▲38	33	▲47	+18	▲9
消去又は全社	▲99	▲5	▲104	▲9	▲5	▲4
合計	5,479	528	5,799	560	+319	+32

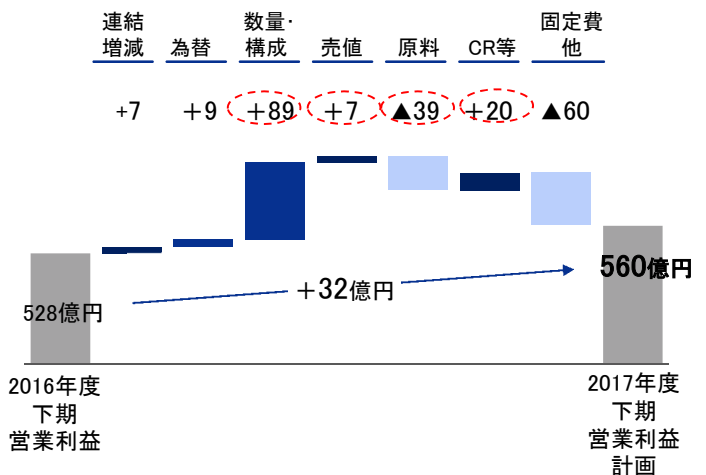
2017年度下期計画 売上高、営業利益増減要因分析

- 引き続き、数量・構成大幅増
- 原料高を売値、CRでヘッジ。成長投資を積極化

売上高



営業利益増減要因分析



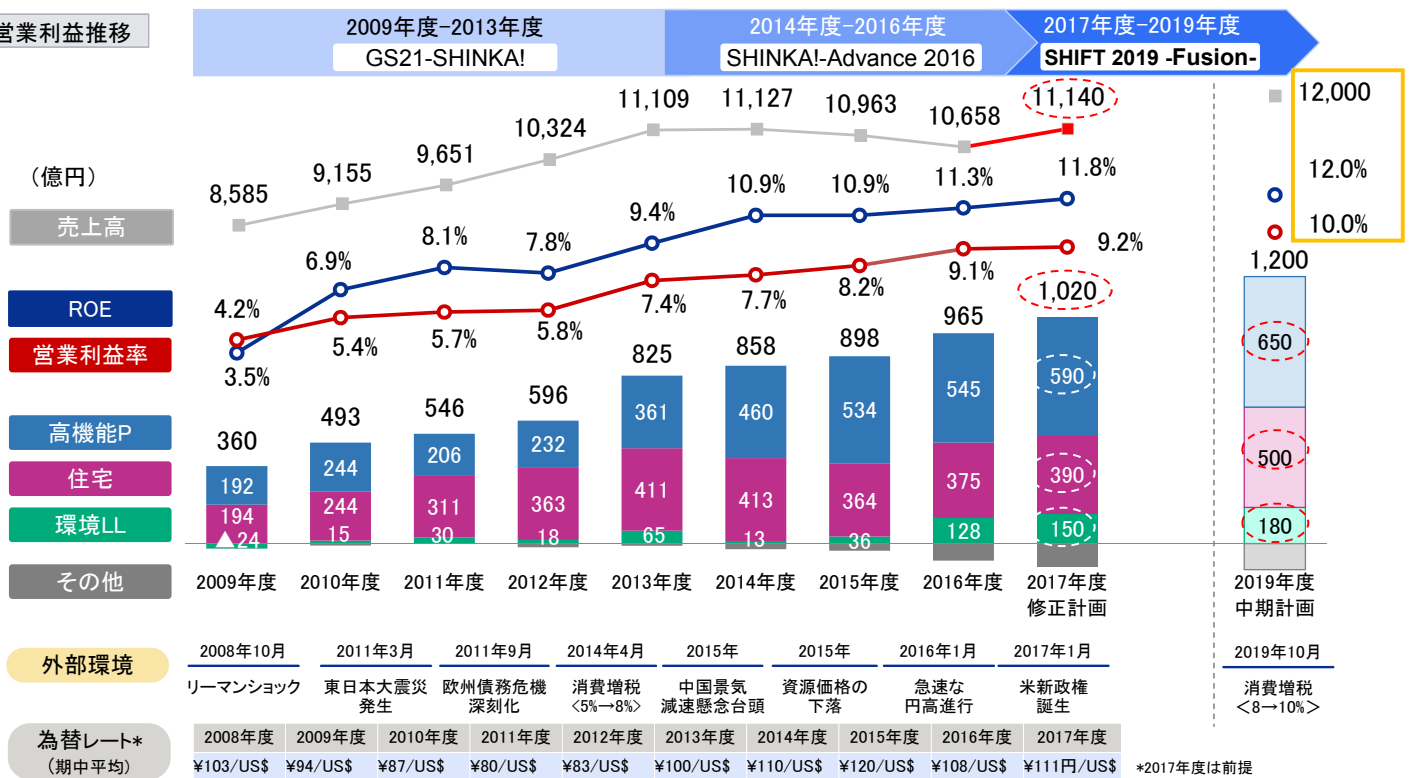
・新規連結除く実質ベースでは、162億円増収

中期経営計画「SHIFT 2019 -Fusion-」の進捗

■ 9期連続営業増益、5期連続最高益更新見込み

■ 中期経営計画達成に向け、順調なスタート

営業利益推移



中期経営計画「SHIFT 2019 -Fusion-」の進捗

■ 「成長投資」と「構造改革」ともに順調に進捗

■ 成長加速のための「融合」の取り組みが進む

主な施策と効果発現時期

※1 ■ 高機能プラスチック、■ 住宅、■ 環境・ライフライン

※2 ■ : 効果発現開始 ■ : 本格効果発現



2017年度第2四半期 決算内容

取締役 常務執行役員
経営管理部担当
平居 義幸

連結対象会社数と増減影響

連結対象会社数

	2017年3月末	2017年9月末	増減
連結会社	143社	151社	増加 16社*1 減少 8社*2
持分法会社	8社	8社	増加 0社 減少 0社

*1 エナックス、ポリマテック・ジャパン等

*2 セキスイハイム不動産3社を1社に、セキスイハイム工業4社を1社に統合を含む

連結会社増減による影響額

(億円)	2017年度上期	増減
売上高	▲32億円	積水フィルム*3 日本ノーディックテクノロジー*4
営業利益	+3億円	積水可耐特(河北)環境科技*4 ポリマテック・ジャパン等*5

*3 2016年度第2四半期より連結除外

*4 2016年度第4四半期より連結除外

*5 2017年度第2四半期より新規連結

損益概要

(億円)	2016年度 (第2四半期累計期間)	2017年度 (第2四半期累計期間)	増減	
売上高	5,179	5,341	+163	
売上総利益	1,713	1,739	+26	
売上総利益率	33.1%	32.6%	▲0.5%	
販売費および一般管理費	1,276	1,279	+3	
営業利益	437	460	+23	
持分法投資損益	15	14	0	
その他営業外損益	▲51	12	+63	為替差損益 ▶ 42 億円
経常利益	400	486	+86	
特別利益	69	25	▲44	前年投資有価証券 売却益有り
特別損失	83	9	▲74	前年投資有価証券 評価損、構造改革 影響有り
税引前利益	386	502	+116	
法人税等	116	137	+21	
非支配株主に帰属する四半期純利益(累計)	9	22	+13	
親会社株主に帰属する四半期純利益(累計)	261	342	+81	
為替レート (期中平均)	米ドル	105円	111円	
	ユーロ	118円	126円	

貸借対照表 -資産-

(億円)	2017年 3月末	2017年 9月末	増減	
現金及び預金	1,099	897	▲202	
売上債権	1,641	1,732	+91	
棚卸資産	1,536	1,657	+121	
その他流動資産	386	433	+47	
有形固定資産	2,618	2,745	+127	
無形固定資産	396	460	+64	
投資有価証券	1,569	1,670	+100	時価評価等
投資その他の資産	193	183	▲10	
資産合計	9,436	9,775	+338	連結増減 ▶ 200 億円 為替影響 ▶ 107 億円

貸借対照表 -負債・純資産-

(億円)	2017年 3月末	2017年 9月末	増減	
無利子負債	3,294	3,328	+34	
有利子負債	437	412	▲25	
負債合計	3,731	3,740	+9	
資本金等	2,092	2,092	0	
利益剰余金	3,410	3,541	+131	当期純利益 ▶ 342 億円
自己株式	▲410	▲376	+34	配当金支払 ▶ ▲91 億円 自己株式消却 ▶ ▲129 億円
有価証券評価差額金	395	454	+59	
非支配株主持分	208	239	+32	
その他純資産	11	84	+74	取得 ▶ ▲105 億円 消却 ▶ 129 億円
純資産合計	5,705	6,035	+329	為替換算調整勘定 ▶ 78 億円
負債・純資産合計	9,436	9,775	+338	

連結キャッシュ・フロー

(億円)	2016年度上期	2017年度上期	
営業活動によるキャッシュ・フロー	598	362	運転資金、 法人税支払増等
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲96	▲166	投資有価証券 取得等
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲246	▲248	
現金及び現金同等物の増減額	190	▲25	
現金及び現金同等物の期末残高	861	880	
フリーキャッシュ・フロー ＝営業活動CF＋投資活動CF－配当支払	419	100	

減価償却費・資本の支出

(億円)	減価償却費			資本の支出		
	2016年度 上期	2017年度 上期	増減	2016年度 上期	2017年度 上期	増減
住 宅	44	45	+1	80	63	▲17
環境LL	32	30	▲2	35	51	+16
高機能P	87	89	+2	81	123	+42
その他	4	6	+2	7	14	+7
消去又は全社	5	5	0	4	4	0
合計	172	175	+4	207	255	+48

減価償却費・資本の支出・研究開発費

(億円)	2016年度	2017年度計画	増減
減価償却費	348	370	+22
資本の支出	439	560	+121
研究開発費	342	380	+38

2017年度通期 修正計画

(億円)	2016年度	2017年度 修正計画	増減	2017年度 計画 (4月公表)
売上高	10,658	11,140	+482	11,040
営業利益	965	1,020	+55	1,020
経常利益	915	1,010	+95	970
親会社株主に帰属する 当期純利益	609	670	+61	630
配当 (円/株)	35	38*	+3	38*

*うち1円は創立70周年記念配当

2017年度上期 総括

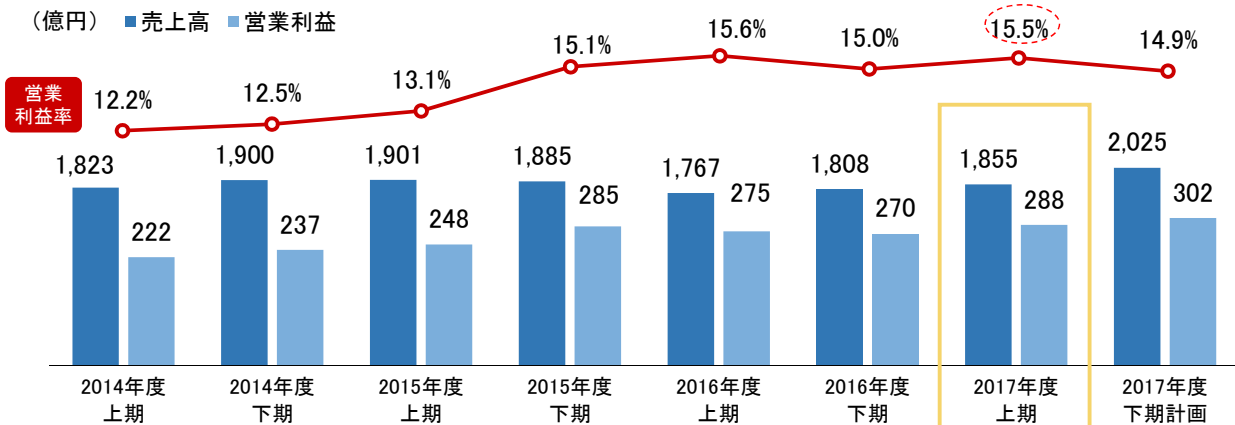
高機能
プラスチック

■ 戦略4分野*が順調に拡大。大幅増益で半期最高益を更新

- 数量増、プロダクトミックス改善により原料高を跳ね返す
- 成長加速のための「仕込み」が進む

*戦略4分野: エレクトロニクス、車輛・輸送、住インフラ材、ライフサイエンス

業績推移



為替レート*	103円/\$	117円/\$	122円/\$	119円/\$	105円/\$	111円/\$	111円/\$	110円/\$
(期中平均)	139円/€	139円/€	135円/€	130円/€	118円/€	119円/€	126円/€	130円/€

*2017年度下期は前提レート

主なM&A

2015年11月
エーディア社

2017年9月
ポリマテック社

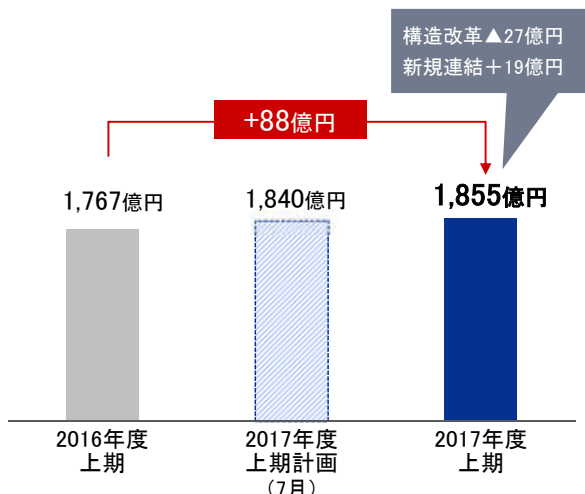
2017年度下期予定
ソフランウイズ社

2017年度上期 売上高、営業利益増減要因分析

高機能
プラスチック

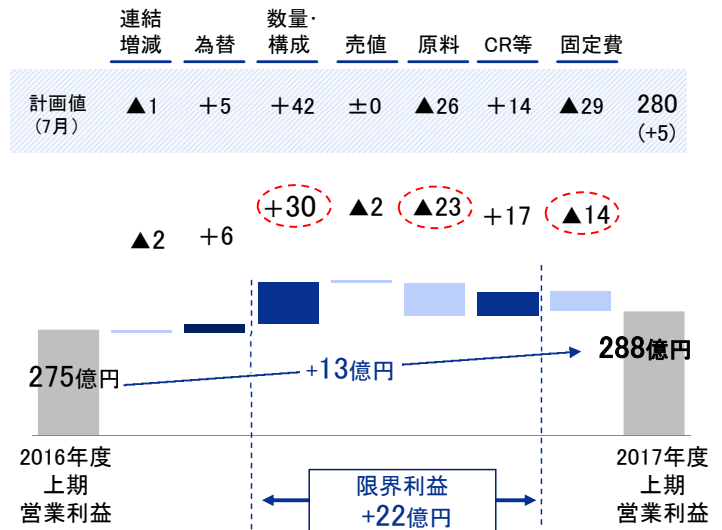
- 戦略4分野を中心に、「数量・構成」大幅増
- CRにより原料高を軽減。成長投資以外の固定費を抑制

売上高



・構造改革、新規連結影響除く実質ベースでは、96億円増収

営業利益増減要因分析

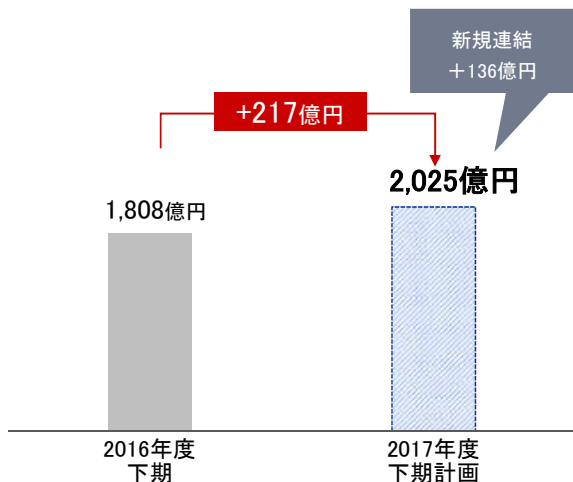


2017年度下期 計画概要

高機能
プラスチック

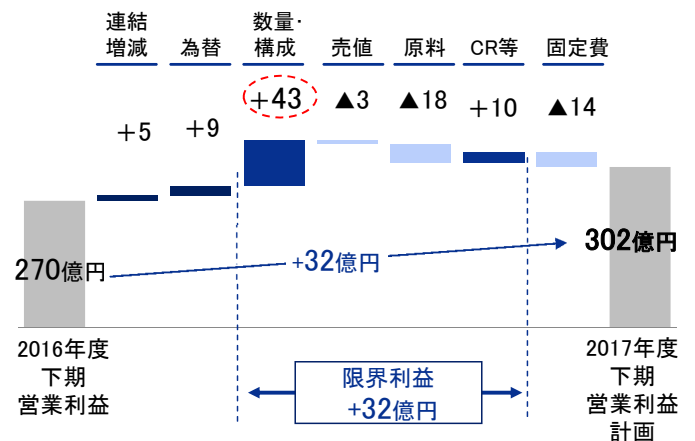
- 引き続き、戦略4分野を中心とした「数量・構成」増により、大幅増益を狙う

売上高



・新規連結影響除く実質ベースでは、81億円増収

営業利益増減要因分析



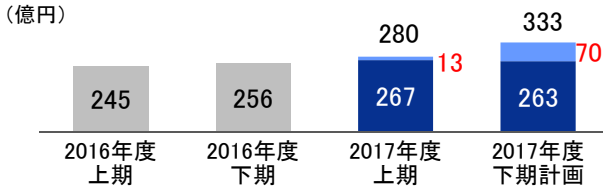
■ 上期は4分野ともほぼ計画通り。下期は、「車輻・輸送分野」「ライフサイエンス分野」で大幅増収を見込む

戦略4分野の売上高推移・下期見通し

*赤字はM&Aによる増分

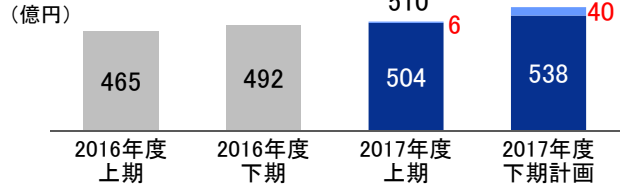
エレクトロニクス

- FPD市況の回復は一巡(下期は一時的に踊り場)
- 主力製品堅調。OLED、実装・半導体分野への展開は順調



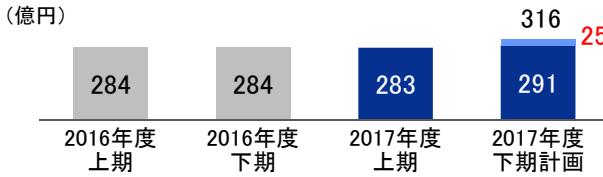
車輻・輸送

- 米州は引き続き市況停滞、中国はやや回復見込む。他エリアは順調
- グローバルで高機能品拡販進捗。メキシコ新ライン寄与開始
- カーエレクトロニクス分野への本格展開開始



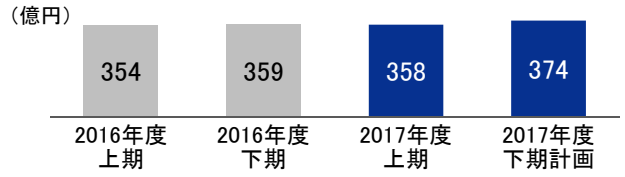
住インフラ材

- 塩素化塩ビ樹脂: グローバルで需要回復傾向続く。米州中心に拡大
- 耐火材: 主力製品順調。不燃ウレタン事業の拡大加速



ライフサイエンス

- 検査事業は順調。国内外で主力製品中心に機器ビジネス拡大
- エーディア社との統合効果が本格化



強化領域等

■ 成長強化領域は順調に売上増。融合強化領域では成長への「仕込み」が進む

強化領域

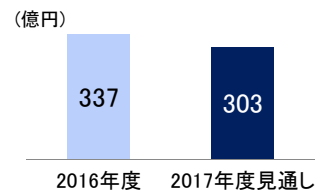
	エレクトロニクス	車輻・輸送	住インフラ材	ライフサイエンス
成長強化	<ul style="list-style-type: none"> 実装・半導体材料 OLED関連部材 	<ul style="list-style-type: none"> 新機能中間膜 内装部材 	<ul style="list-style-type: none"> 海外インフラ材料 高機能PVA 断熱+不燃材料 	<ul style="list-style-type: none"> 海外検査薬 海外創業支援 新規原薬
売上増分見通し: +50億円 *前年同期比	上期: +2億円 下期: +3億円	上期: +3億円 下期: +10億円	上期: +15億円 下期: +6億円	上期: +2億円 下期: +9億円
融合強化 *主な実施施策	カーエレクトロニクス部材 「ポリマテック・ジャパン」 経営権取得 ✓ 目的: カーエレクトロニクス領域への事業展開 ✓ 主なシナジー: 放熱材料のラインアップ強化		高付加価値素材 「ソフランウイズ」 買収 ✓ 目的: 耐火材事業の拡大 ✓ 主なシナジー: ウレタン事業の強化	ヘルスケア (BU・会社横断) 「ペプチスター」 設立 ✓ 目的: 特殊ペプチド原薬事業への参入
	輸送機器部材 環境LLカンパニーとの協業			

新製品・新事業

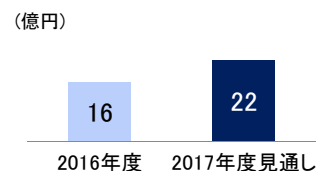
- 新製品: 開発・上市のスピードアップ、企画強化
- 新事業: 実装・半導体関連材料の売上拡大

新製品売上高

*新製品定義: 上市後5年以内の製品



新事業売上高



2017年度上期 総括

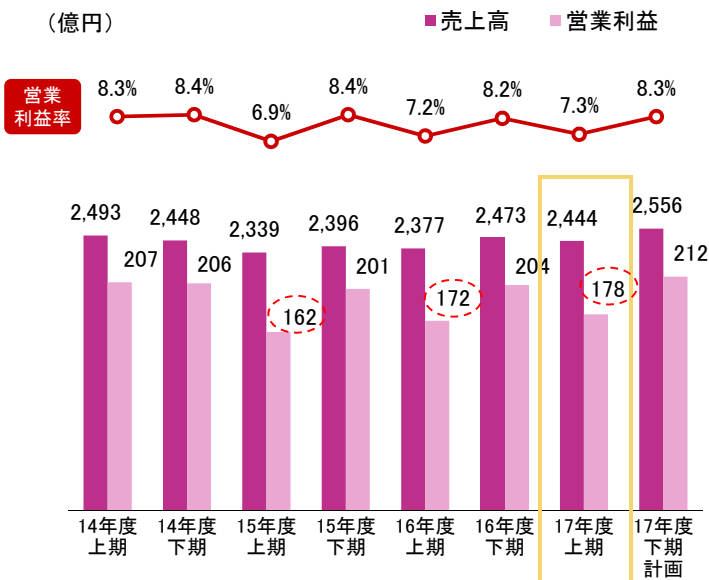
住宅

■2年連続で増収増益

- ・ 新築住宅受注の回復継続
- ・ リフォーム受注が底打ち。期初に比べ、期末受注残増加(103%)
- ・ 施工の期末集中(非平準化の状況)が課題

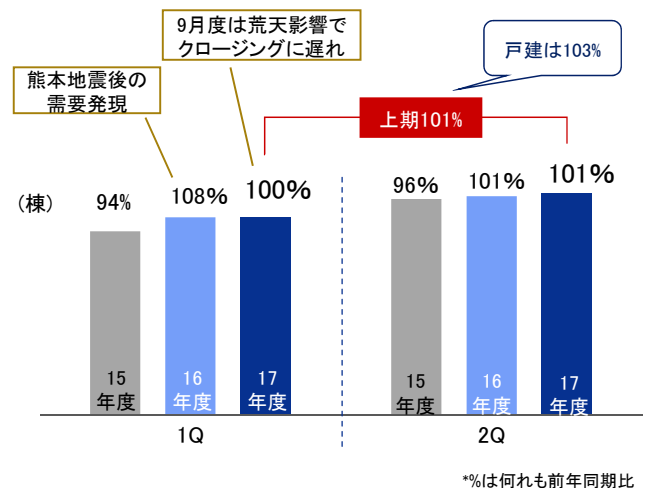
業績推移

(億円)



新築受注棟数

- ・ 計画未達も受注回復は継続



2017年度上期 売上高、営業利益増減要因分析

住宅

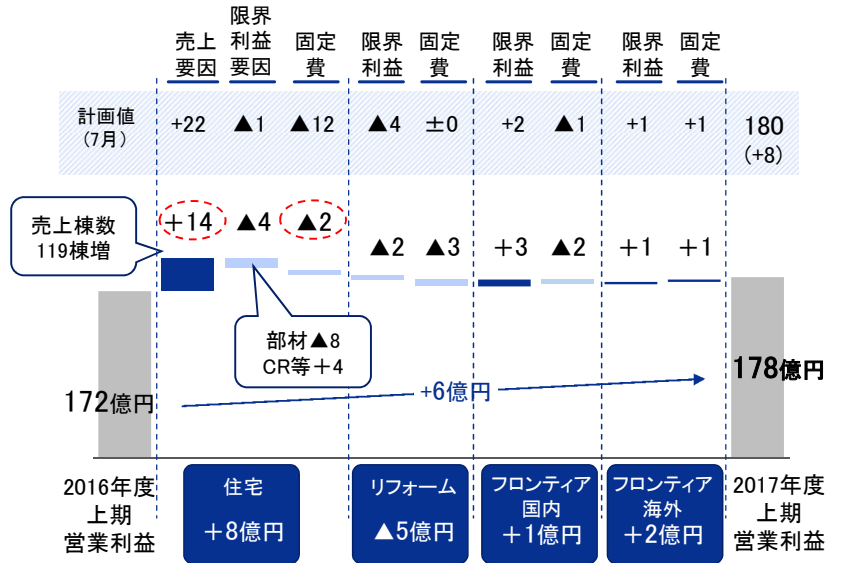
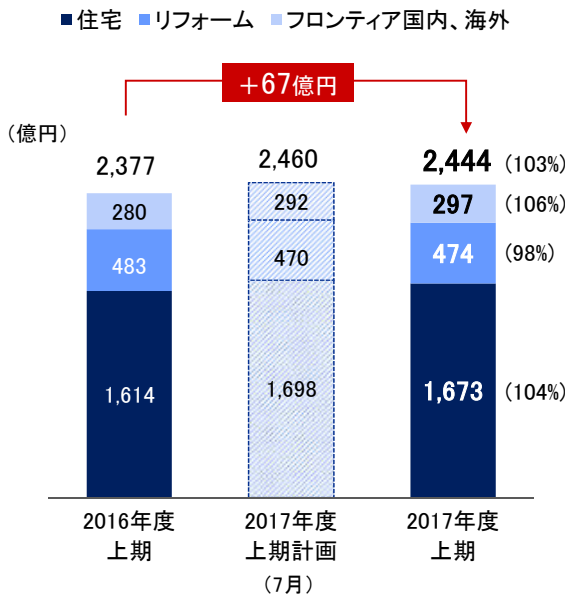
■各事業ともほぼ上期計画通り進捗

- 住宅: 売上棟数増により増収増益。部材高をCR等で一部オフセット
- リフォーム: 期初受注残少なく減収減益も、(期初に比べ)期末受注残増加

事業別売上高

*カッコ内は対前年伸長率

営業利益増減要因分析



2017年度下期 計画概要

住宅

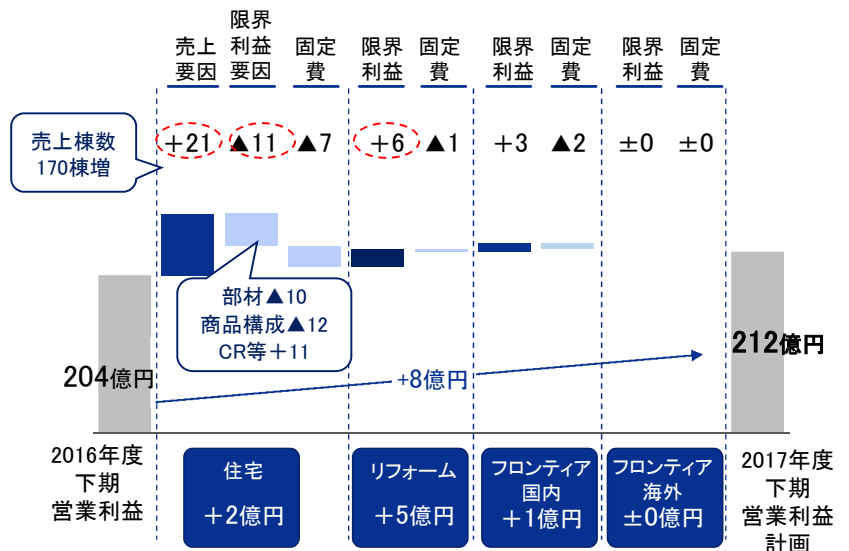
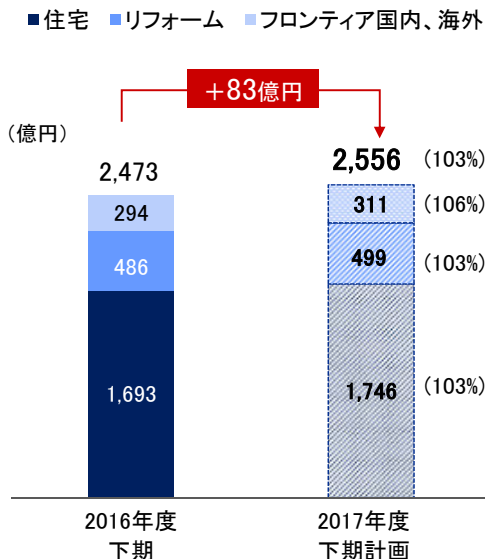
■2年連続の下期増益と来期初受注残増の確保に努める

- 住宅: 「ボリュームゾーン攻略新商品」により棟数増。部材高をCR等でヘッジ
- リフォーム: 増収基調に復帰。上期の減益分を取り返し、通期では前年並みを確保

事業別売上高

*カッコ内は対前年伸長率

営業利益増減要因分析



■ 上期は3大都市圏が戸建受注をけん引。下期は「商品」「土地・分譲」をさらに強化

*%は何れも前年同期比

上期総括・下期市場見通し

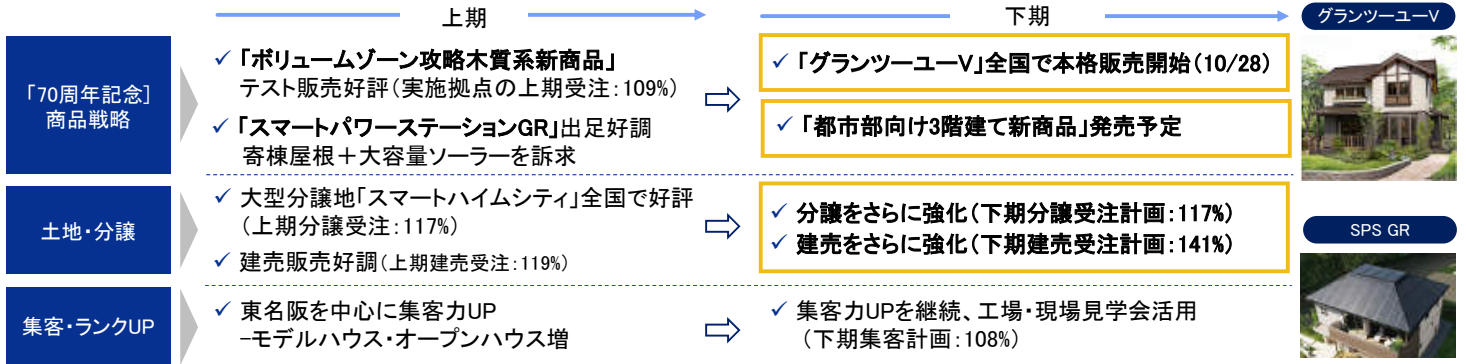
- 戸建はほぼ計画通り(103%)
 - ・ 木質系大幅伸長(122%)、鉄骨系はほぼ前年並み(99%)
 - ・ 分譲住宅は大幅伸長(117%)
- 集合住宅は大幅減(80%)

➢ 下期は、上期並みの市場基調を想定

- ・ 顧客ターゲットは30代前後
- ・ 分譲需要は引き続き堅調
- ・ 集合住宅需要は低迷

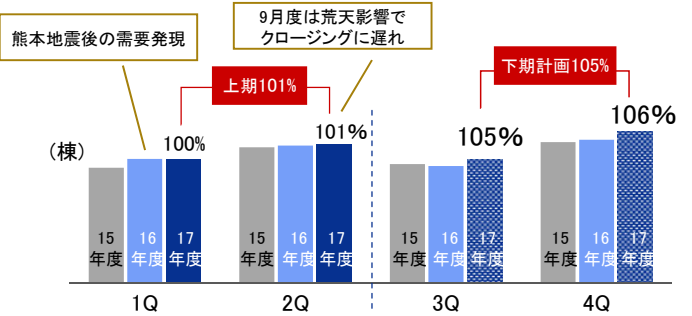
◀ 発掘源多様化により、2Qは集客増(2Q:103%、8~9月度:110%)

下期受注獲得施策



下期受注計画

新築受注棟数の推移

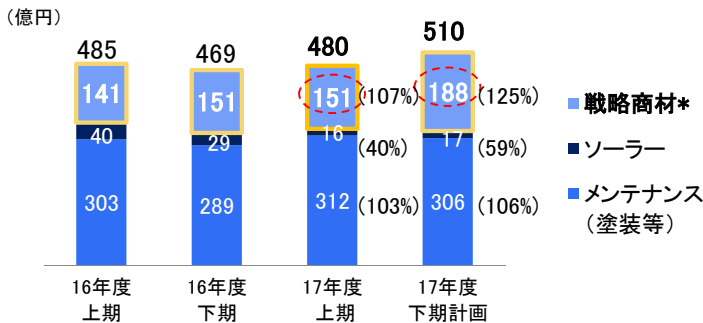


リフォーム、フロンティア国内・海外

リフォーム事業

商材別受注高

*カッコ内は対前年伸長率



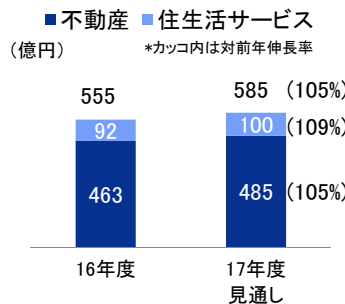
*戦略商材:
エクステリア、新外壁、バス、キッチン、増築など

■ 複合提案型営業スタイルへの転換を加速

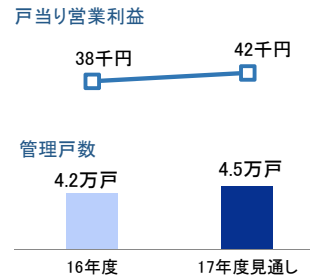
- ・ 戦略商材の強化
 - ✓ 新外壁「エコシャンテ」リニューアル発売(9月)
 - ✓ ユニットバスを中心とした商品ラインアップ拡充
- ・ 営業体制整備をさらに進める
 - ✓ リフォームコーディネーター増
 - ✓ アフターサービス、設計人員の補強

フロンティア国内

事業別売上高



賃貸管理の指標



■ 東名阪不動産会社統合効果発現

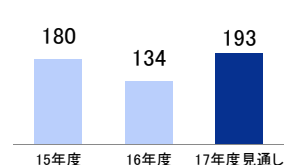
- ・ 東京エリアの高収益モデルを水平展開し、管理戸数・戸当り営業利益を拡大

海外

■ タイでの販売棟数回復

- ・ 土地付き・分譲の展開加速
- ・ CR推進(仕様の現地化等)

タイJV 販売棟数



2017年度上期 総括

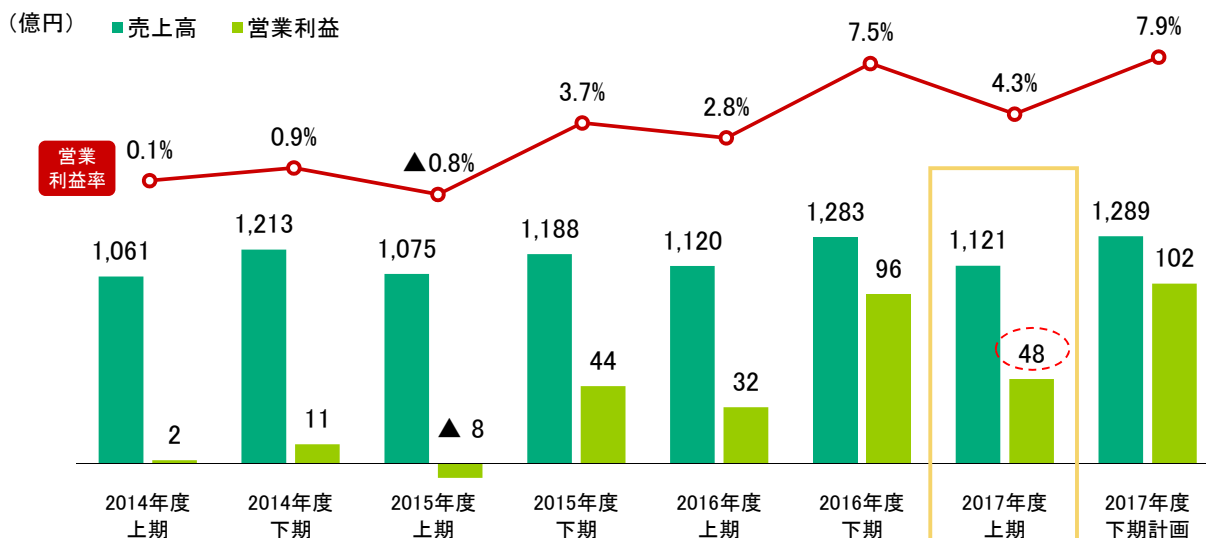
環境・
ライフライン

■ 上期としての最高益を2年連続で更新し、利益率もさらに改善

- 成長戦略: 重点拡大製品*の売上を順調に拡大
- 基盤強化: 平準化効果により、収益体質を継続的に改善中
- 海外戦略: 欧米向けFFUが順調に拡大。ASEANパートナー戦略を加速

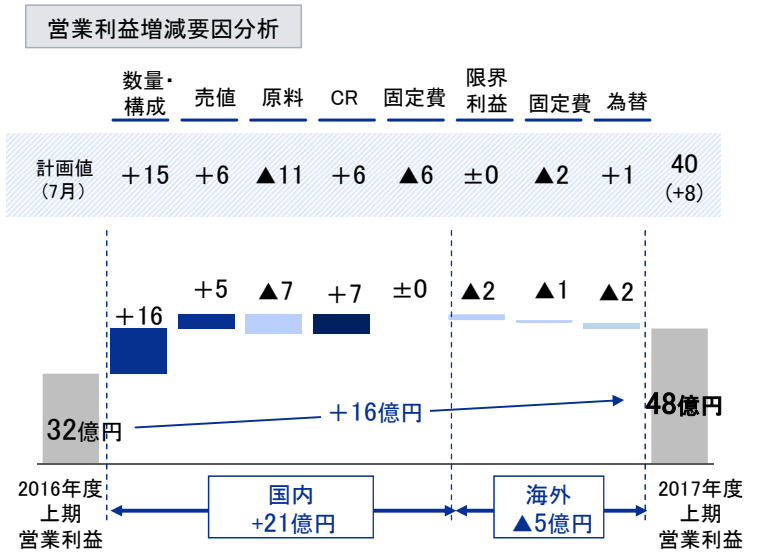
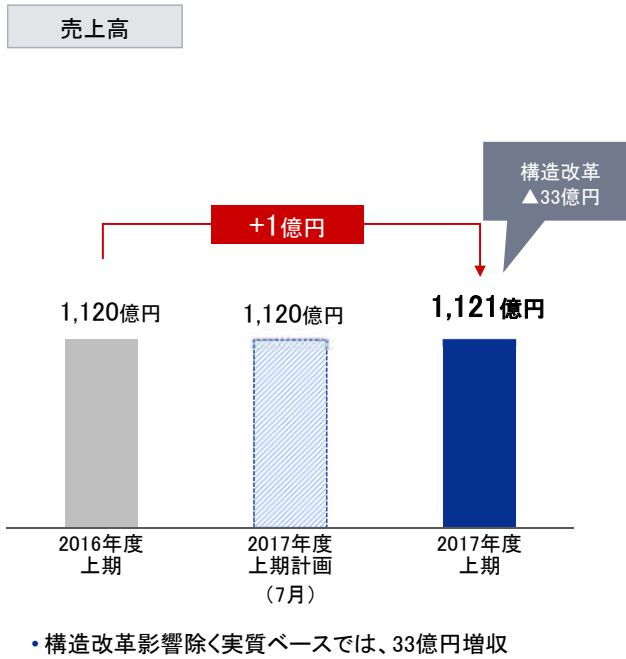
* 重点拡大製品:
高付加価値、かつ市場成長・
代替が見込める製品

業績推移



2017年度上期 売上高、営業利益増減要因分析

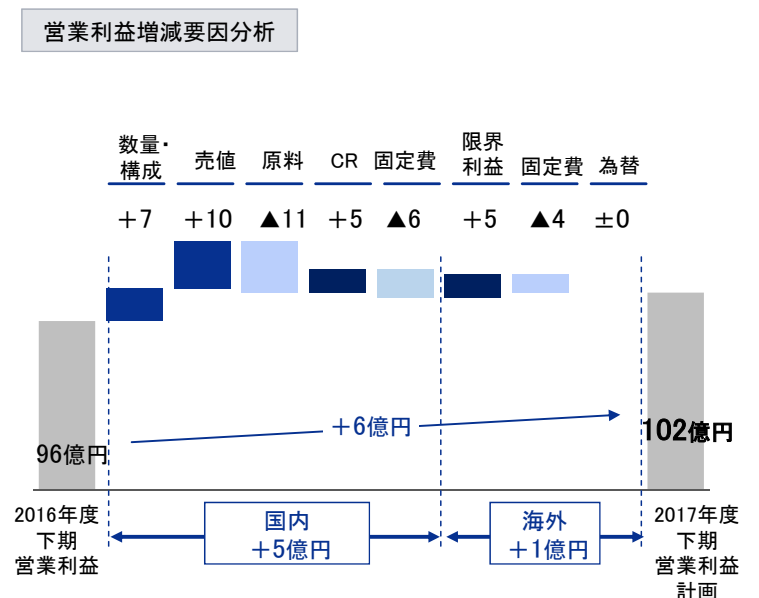
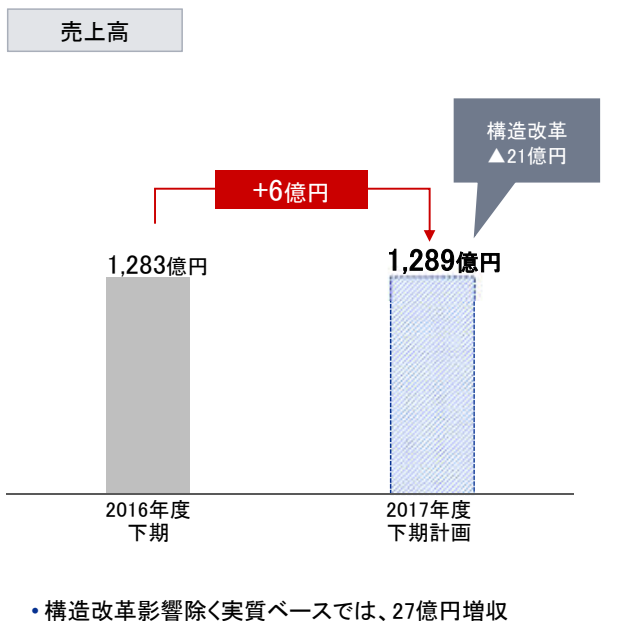
- 重点拡大製品の売上増により、国内「数量・構成」増
- 売値・原料のスプレッド取りこぼしをCRでカバー
- 航空機向けシートの納入時期ズレ発生で海外減益



2017年度下期 計画概要

■ 2年連続で下期としての最高益更新を狙う

- ・ 成長戦略:引き続き、重点拡大製品の売上を拡大。新製品投入を加速
- ・ 基盤強化:スプレッド改善と生産能力最適化の推進
- ・ 海外戦略:航空機向けシート拡大、FFU海外展開加速、ASEANへの展開加速



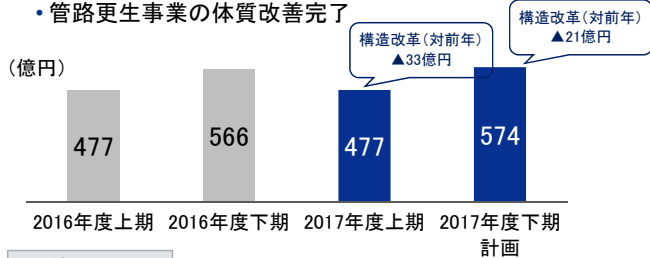
■3分野とも順調に進捗し、通期で増収見通し

■海外は米国シートが横ばいも、全エリアにおいて戦略効果が発現

戦略3分野の売上高推移と下期に向けた課題

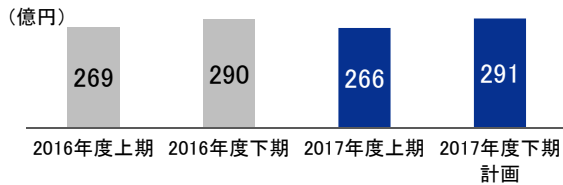
配管・インフラ

- ・旺盛な大都市圏のインフラ・商業建築向け需要獲得
- ・ASEANへの展開加速(プラント管材、継手・マス)
- ・管路更生事業の体質改善完了



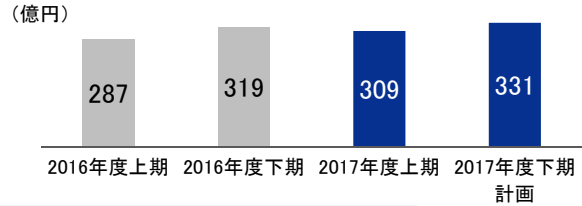
建築・住環境

- ・新製品の投入
- ・重点拡大製品群の売上拡大

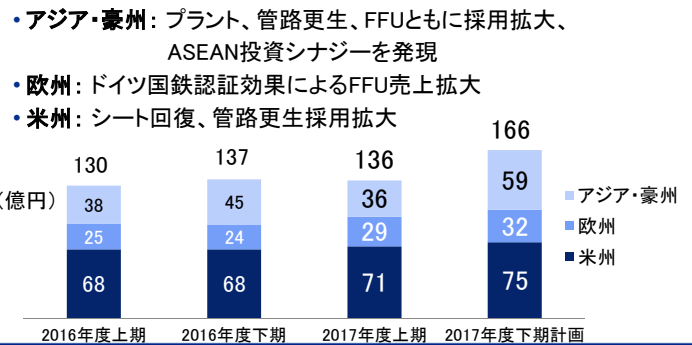


機能材料

- ・航空機向けシート回復と他領域の開拓
- ・FFUは海外基盤を強化
- ・CFRPの用途探索、事業化を進める



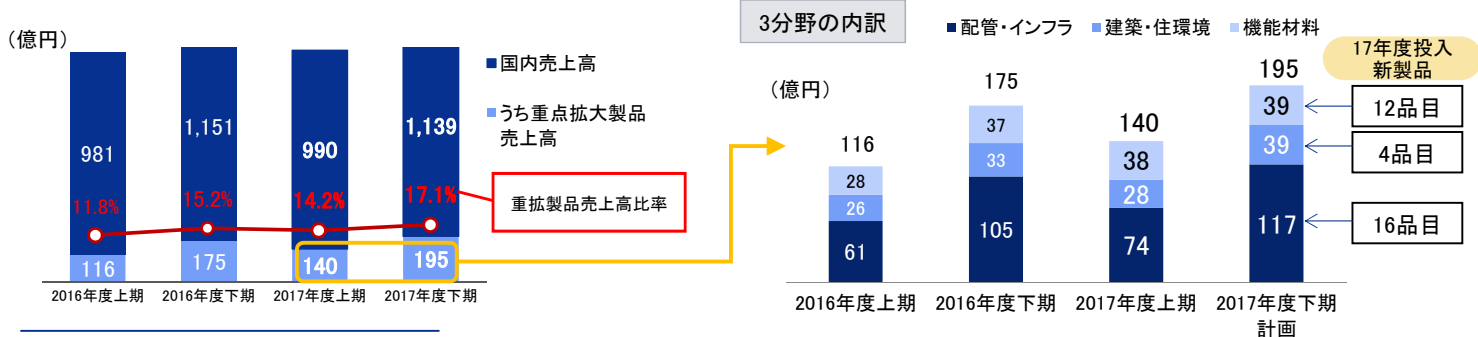
海外エリア別売上高 *国内製品輸出含む



「成長へのシフト」から「成長加速」へ

重点拡大製品売上高

・各分野とも順調に拡大し、通期で44億円の増分獲得見通し。下期は新製品投入を加速



戦略投資・基盤強化

・来期以降の成長加速・さらなる収益性改善のため、戦略投資・基盤強化策を実施

※ 効果発現開始 (黄) : 本格効果発現 (橙)

	主な施策	効果発現時期(イメージ)		
		2017年度	2018年度	2019年度~
戦略投資	■ ベトナム大手パイプメーカー「TP社グループ」への資本参加	●	●	●
	■ 航空機向けシート増産投資(生産能力15%増*)	●	●	●
	■ FFU増産投資(生産能力40%増*)	●	●	●
基盤強化	■ 工場生産品目再編	●	●	●

■ プラスチック製品による従来素材(金属・木材・ガラス)代替で新分野・領域を開拓

分野	配管・インフラ	建築・住環境	機能材料
製品	塩ビ管材、建築管材、プラント管材、管路更生など	雨とい、内装加飾シート、介護機器など	シート、FFU、ブロー容器、熱可塑CFRPなど
展開	<ul style="list-style-type: none"> 金属代替: 軽量化・易施工・耐腐食 高機能化: 国内→領域拡大 海外→グローバル対応 (東南アジア中心) 	<ul style="list-style-type: none"> 金属代替: 非住宅雨といの軽量・易施工化 木材代替: 内装加飾シートによる意匠向上 	<ul style="list-style-type: none"> シート: 航空機向け増産 拡大3分野(鉄道・医療・建築) ガラス代替: 医療用低溶出滅菌容器

製品例

高耐圧PE管



更生工法(新製管技術)



ユニットバス



インフラガードシリーズ



FFU枕木



航空機向けシート



プラント管材



カチットS



意匠性雨とい



機能性畳



医療機器用シート



医療用低溶出滅菌容器



スライドに記載されている見込、計画、見通しなど歴史的事実でないものは、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいて作成されております。従って、実際の業績は、様々な重要な要素の変化により大きく異なる結果になりうることを、ご承知おきください。

住宅カンパニー実績・計画について

1. 住宅事業の主要データ

	2017年度			2016年度			2015年度	
	上期	下期計画	通期計画	上期	下期	通期	通期	
連結	売上高(億円)	2,444	2,556	5,000	2,377	2,473	4,850	4,734
	住宅	1,673	1,746	3,419	1,614	1,693	3,307	3,185
	リフォーム	474	499	973	483	486	969	1,004
	フロンティア国内	287	298	585	272	283	555	518
	不動産	239	246	485	227	236	463	428
	住生活サービス	47	53	100	44	47	92	90
	海外	10	13	23	8	10	19	27
その他	1.販売戸数(戸)	6,850	7,200	14,050	6,620	7,000	13,620	13,380
	戸建て	4,920	5,110	10,030	4,740	4,820	9,560	9,410
	ハイム	4,180	4,210	8,390	3,790	3,980	7,770	7,460
	ツーユー	740	900	1,640	950	840	1,790	1,950
	アパート	1,930	2,090	4,020	1,880	2,180	4,060	3,970
	2.主なデータ							
	単価<全国販社・戸建>(百万円)	31.0	-	-	30.4	30.8	30.6	30.3
	坪単価<全国販社・戸建>(万円)	83.2	-	-	81.8	82.6	82.2	80.6
	床面積(m ²)	123.0	-	-	122.7	123.0	122.9	124.1
	展示場数(棟)	416	-	419	412	-	414	413
	営業マン数(人)	2,495	-	2,400	2,522	-	2,370	2,395
建替え比率(%)*	28%	30%	29%	30%	30%	30%	27%	
紹介契約比率(%)*	32%	32%	32%	37%	34%	35%	38%	

*建替え比率と紹介契約比率は受注ベース

住宅カンパニー実績・計画について

2. 受注状況等

(百万円)	2017年度			2016年度			2015年度		
	上期	下期計画	通期計画	上期	下期	通期	上期	下期	通期
期初受注残	206,000	207,800	-	205,500	207,500	-	204,300	205,500	-
伸び率	±0%	±0%		+1%	+1%	-	▲12%	▲8%	-
新規受注	202,957	214,643	417,600	202,457	207,529	409,987	199,914	204,391	404,304
伸び率	±0%	+3%	+2%	+1%	+2%	+1%	▲5%	+5%	±0%
請負売上高	201,157	209,443	410,600	200,457	209,029	409,487	198,714	204,391	403,104
伸び率	±0%	±0%	±0%	+1%	+2%	+2%	▲9%	▲4%	▲7%
期末受注残	207,800	213,000	-	207,500	206,000	-	205,500	205,500	-
伸び率	±0%	+3%	-	+1%	±0%	-	▲8%	+1%	-

3. 住宅着工戸数

(戸)	2017年度			2016年度			2015年度
	上期	下期計画	通期計画	上期	下期	通期	通期
住宅着工戸数	498,000	452,000	950,000	500,151	473,986	974,137	920,537
上記での持ち家着工(=A)	147,000	143,000	290,000	152,836	138,947	291,783	284,441
当社販売戸数	6,850	7,200	14,050	6,620	7,000	13,620	13,380
当社戸建販売戸数(=B)	4,920	5,110	10,030	4,740	4,820	9,560	9,410
持ち家での当社シェア(=B/A)	3.3%	3.6%	3.5%	3.1%	3.5%	3.3%	3.3%

*2017年度上期以降の“住宅着工戸数”と“上記での持ち家着工”は見直し

4. 高性能住宅仕様装着比率

	2017年度			2016年度			2015年度
	上期	下期計画	通期計画	上期	下期	通期	通期
太陽光発電搭載	75%	75%	75%	77%	78%	78%	79%
タイル外壁仕様(ハイムJXタイプ)	71%	71%	71%	67%	68%	67%	66%
蓄電池搭載比率	21%	24%	23%	21%	27%	24%	25%
快適エアリー	75%	79%	77%	73%	77%	75%	70%